

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成23年3月30日			
	総事業費	1, 229, 655千円(新篠津村分348, 637千円)			
	交付金額	409, 885千円(新篠津村分116, 212千円)			
	整備対象地域	新篠津村の全域			
	事業の内容	<p>新篠津村役場を中心とする市街地区にADSLサービス、また全村を網羅するFWAサービスによるブロードバンドサービスが提供されていたが、近年、FTTHサービスが普及し、高速化が図られる中、人口数や住宅が点在する本村においては民間電気通信事業者によるFTTHサービスの整備は見込めない状況にあった。映像などが一般的に配信される中、高速化に対するニーズは非常に高く、新篠津村全域にFTTH網を整備することで、情報の収集や発信などインターネットサービスを利用する住民の利用環境の向上、また地域間の情報格差の是正を目的とした。</p> <p>そのため、新篠津村全域にFTTH網を整備しFTTHサービス(NGN)が利用できる環境を整備し、民間電気通信事業とIRU契約を締結し、FTTHサービスの提供を行なっている。</p>			
BB	サービス開始日	平成23年4月22日			
	サービス形態	公設民営(IRU)			
	契約先	東日本電信電話株式会社北海道支店			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	1,520	1,520	1,460	1,415
加入世帯数	350	400	384	556	
加入率(%)	23.0	26.3	26.3	39.3	
評価及び課題	<p>【評価】整備計画時の目標は早期に達成され、情報格差是正に一定の成果が出ているものと考え十分評価できる。</p> <p>【課題】本村は、高齢者のみの世帯も多く、それらを中心とする未加入の世帯に対しての効果的な加入促進が必要である。</p>				
今後の取組及び方向性	今後、加入者増加のため、村広報誌やお知らせ等、PR活動を行う。				